

**【授業の到達目標および概要】**

食生活と環境問題との関係を理解し、ESD（持続可能な開発のための教育）としての食教育の在り方を実践的な授業やプロジェクトとして提案ができることを到達目標とする。

そのために、食生活と環境問題との関係やESDの理論をまず学び、研究論文・文献などを読み、実践事例についても調べ、受講者各自の研究テーマに応じた食環境教育の在り方を提案・発表し、クラスで議論・検討する。

**【授業計画】**

- ①食生活と環境問題との関係に関する理論とESDとしての「食教育」の方向性
- ②学校教育における食環境教育
- ③社会教育における食環境教育
- ④イギリスやドイツの食環境教育
- ⑤国際協力としての食環境教育
- ⑥食環境教育の授業あるいはプロジェクトの提案・発表と検討
- ⑦⑧ まとめ

**【授業外学習】**

授業時に指示する研究論文・文献・資料を読み、予習・復習を行うこと。

**【成績評価の方法・基準】**

授業における発表やコメント、及び課題レポートにより、総合的に評価する。

**【教科書】**

随時プリントを配付する。

**【参考書】**

日本環境教育学会編『環境教育とESD』東洋館出版社，2014

福岡伸一『ロハスの思考』ソトコト新書，2006

その他、授業の際に指示する。

**【教材】**

授業の際に配付する。

**【備考】**

特になし